

軌道情報を含む乗り心地情報一元表示システムの開発と活用

中川千鶴 菅原能生 清水惇

乗り心地は、様々な方向の振動が混在した振動（複合振動）がもたらす印象に、大きく影響されます。そこで我々は、乗り心地への複合振動の影響を推定する複合振動乗り心地推定法（複合推定）を提案しました。また、乗り心地のさらなる向上のため、複合推定とともに、乗り心地に寄与する様々な情報を一括表示する「乗り心地情報一元表示システム（一元表示システム）」を開発しました。本システムの特徴は、複合推定を用いて、走行振動の印象や線区の状態を乗り心地の観点から捉える点にあります。複合推定と同時に、従来の方向別乗り心地評価法や車両・軌道分野のデータ、線路線形や構造物情報を併記することで、乗り心地評

価だけでなく、乗り心地の変化と他の情報の関連や影響要因の推定などに活用することが可能です。

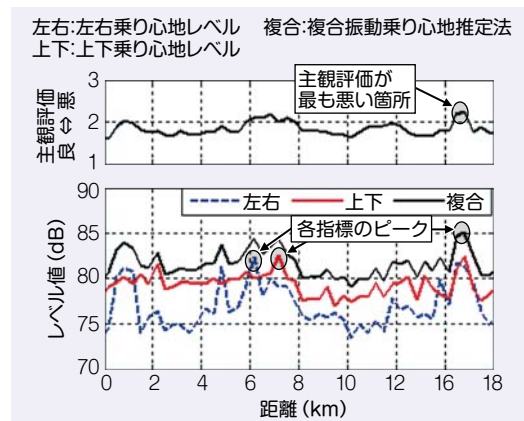


図 主観評価と各乗り心地指標の比較